

他にもあるよ

6つのまちづくりと予算

復興するまちづくり

— 生活基盤・社会基盤・産業基盤 —

- ・ 本庁舎災害復旧事業 2億 200万円

育てるまちづくり

— 学校教育・子育て支援 —

- ・ 不知火小学校建替事業 7億1,050万円
- ・ 松橋中学校屋内運動場等改築事業 4億6,059万円
- ・ 学校給食センター建築事業 5億 393万円



食育施設も兼ねた給食センター

住み続けるまちづくり

— 生活環境・健康福祉・社会福祉 —

- ・ 防災行政無線デジタル化整備事業 3億3,300万円
- ・ さしより野菜推進事業 563万円

持続するまちづくり

— 産業経済・都市機能・行財政改革 —

- ・ 本庁舎大規模改修事業 5億2,000万円
- ・ 小川支所移転事業 1億1,242万円
- ・ 道路新設改良事業 11億1,865万円

選ばれるまちづくり

— 観光物産・移住定住 —

- ・ 空き家空き地対策事業 1,616万円
- ・ 三角西港観光トイレ大規模改修事業 2,090万円

活躍するまちづくり

— 雇用・男女共同参画・交流・文化スポーツ —

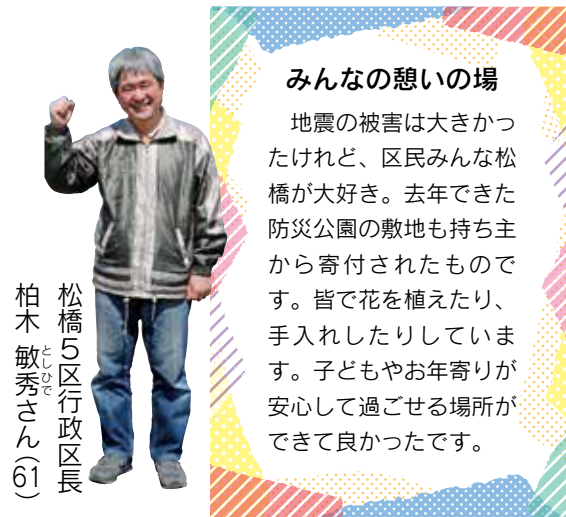
- ・ 松橋総合体育文化センター大規模改修事業 4億7,100万円
- ・ 旧三角海運倉庫耐震補強事業 9,488万円

6つのまちづくり

みんなの期待

令和2年度に実施する主な事業と歳出予算を、「第2次宇城市総合計画」の6つのまちづくり基本目標の主なものを取り上げ、市民の皆さんの声と共にご紹介します。

住み続ける まちづくり



松橋5区行政区長
柏木 敏秀さん(61)

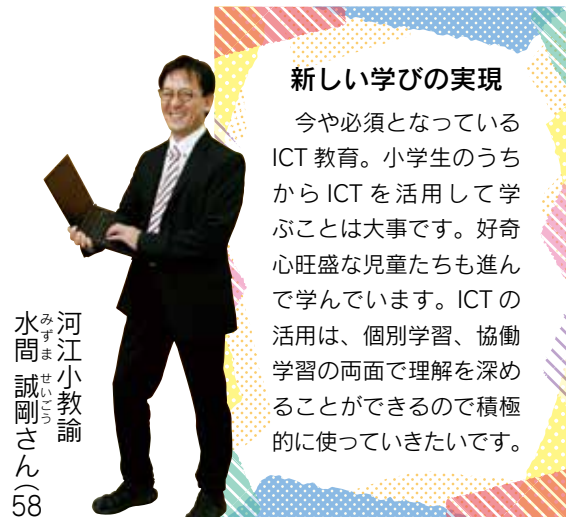
みんなの憩いの場

地震の被害は大きかったけれど、区民みんな松橋が大好き。去年できた防災公園の敷地も持ち主から寄付されたものです。皆で花を植えたり、手入れしたりしています。子どもやお年寄りが安心して過ごせる場所ができて良かったです。

防災井戸建設事業 3,000万円

今年度は市役所本庁、三角支所、豊野支所に防災井戸を設置する予定です。

育てる まちづくり



河江 小教諭
水間 誠剛さん(58)

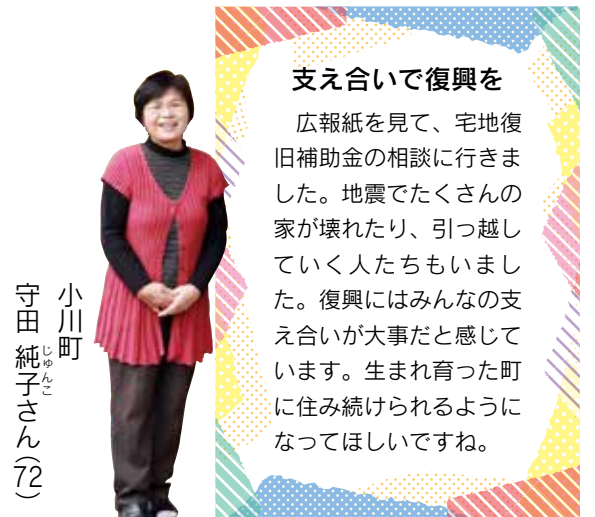
新しい学びの実現

今や必須となっているICT教育。小学生のうちからICTを活用して学ぶことは大事です。好奇心旺盛な児童たちも進んで学んでいます。ICTの活用は、個別学習、協働学習の両面で理解を深めることができるので積極的に使っていきたいです。

小中学校ICT教育環境整備事業 2億482万円

ネットワーク環境構築、ICT包括支援提携事業委託、小学校ICT機器賃借料などに使われます。

復興する まちづくり



小川町
守田 純子さん(72)

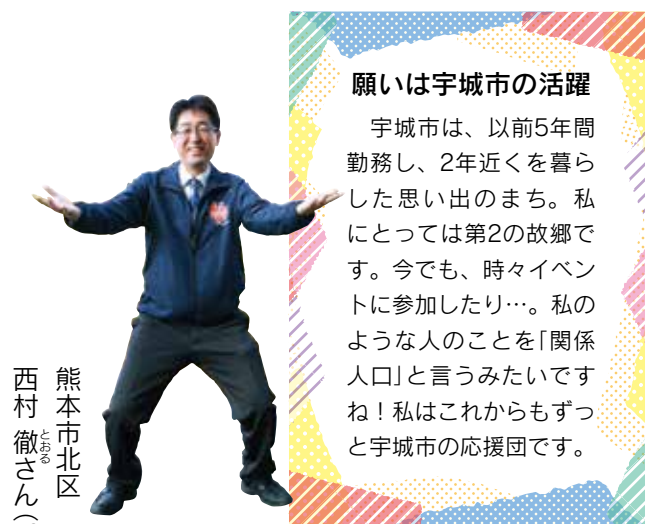
支え合いで復興を

広報紙を見て、宅地復旧補助金の相談に行きました。地震でたくさんの家が壊れたり、引っ越していく人たちもいました。復興にはみんなの支え合いが大事だと感じています。生まれ育った町に住み続けられるようになってほしいですね。

熊本地震復興基金事業 4億3,165万円

被災した宅地の復旧や住まい再建の補助を行います。

活躍する まちづくり



熊本市北区
西村 徹さん(48)

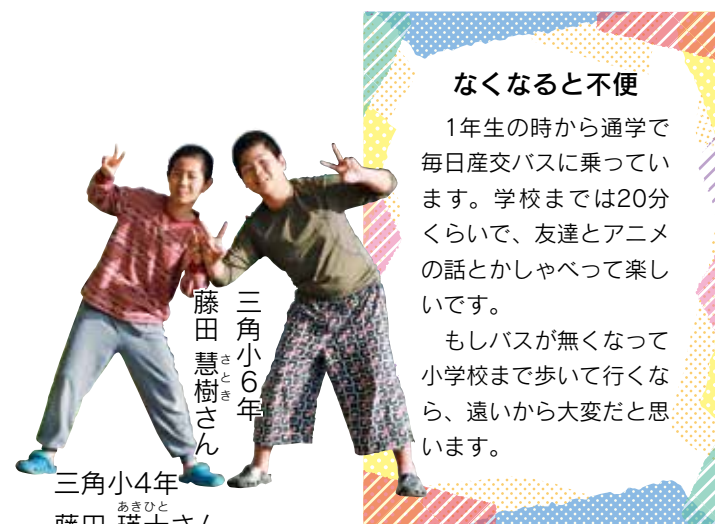
願いは宇城市の活躍

宇城市は、以前5年間勤務し、2年近くを暮らした思い出のまち。私にとっては第2の故郷です。今でも、時々イベントに参加したり…。私のような人のことを「関係人口」と言うみたいですね！私はこれからもずっと宇城市の応援団です。

ふるさと納税事業 2億5,415万円

事務費に充てるほか、スポーツ講演会や不知火美術館での特別企画展を開きます。

選ばれる まちづくり



三角小4年
藤田 瑛士さん
三角小6年
藤田 慧樹さん

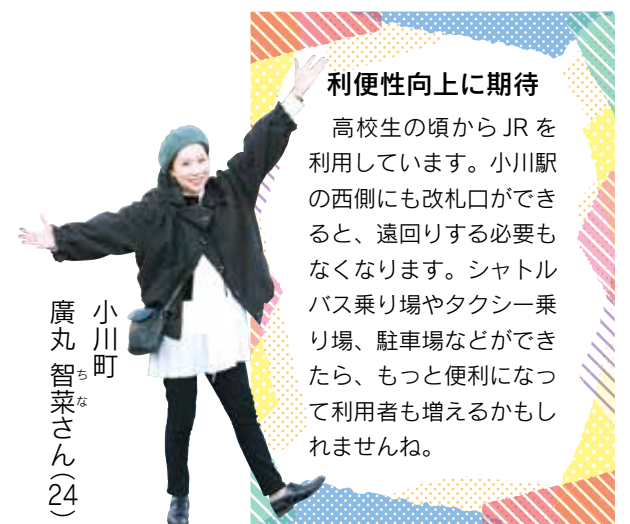
なくなると不便

1年生の時から通学で毎日産交バスに乗っています。学校までは20分くらいで、友達とアニメの話とかしゃべって楽しいです。もしバスが無くなって小学校まで歩いて行くな、遠いから大変だと思います。

地方バス対策事業 1億1,180万円

通常バスの運行に対する補助費やバス無料化の社会実験費に充てられます。

持続する まちづくり



小川町
廣丸 智菜さん(24)

利便性向上に期待

高校生の頃からJRを利用しています。小川駅の西側にも改札口ができると、遠回りする必要もなくなります。シャトルバス乗り場やタクシー乗り場、駐車場などができたら、もっと便利になって利用者も増えるかもしれませんね。

小川駅西開発事業 6,725万円

小川駅西側に改札口などを新設する準備が始まります。